

テ開裂ス

(完)

○植物ノ學名ニ使用セル種名ノ解釋

(第五卷第六號ノ續キ)

牧野富太郎

linearis. 線形ノ  
litoralis. 海濱ニ在ル  
lividus. 鉛色ノ  
lobatus. 淺裂セル  
longipes. 長柄ヲ有スル  
lunulatus. 小半月形ノ  
macrocarpus. 大形ノ果實ヲ有スル  
macrophyllus. 大葉ヲ有スル、長大ナル葉ヲ有スル  
macrorhizus. 長キ根アル、太キ根アル、長大ノ根アル  
margalitaceus. 眞珠様ノ  
Mariesii. マリース氏ノ  
Maximowiczianus. マキシモウィッチ氏(露國ノ植物學者)ノ  
Maximowiczii. 同上  
micranthus. 小形ノ花ノ、小形ノ花ヲ有スル  
microcarpus. 小形ノ果實ノ、小形ノ果實ヲ有スル

microphyllus. 小形ノ葉ノ、小形ノ葉ヲ有スル  
minimus. 極メテ小ナル  
mirabilis. 驚異ノ  
Miyabeanus. 宮部金吾氏(理學博士、元北海道帝國大學農學部教授)同上  
Miyabei. 同上  
monanthus. 一花ノ  
moschatellinus. 麝香ニ似タル、麝香様ノ香氣アル  
moschatus. 麝香ノ香氣アル  
multiflorus. 多花ノ  
multinervis. 多脈アル  
multisectus. 多裂セル  
nanus. 矮小ナル  
nikoensis. 日光(下野)ノ  
nikomontanus. 日光山(下野)ノ  
nipponensis. 日本ノ(場合ニヨリ日本本州ノ)

nipponicus = nipponicus. 同上  
 oblongifolius. 長橢圓形ノ葉ノ  
 oblongus. 長橢圓形ノ  
 obovatus. 倒卵形ノ  
 occidentalis. 西方ノ  
 odoriferus. 香氣ヲ有スル  
 odorus. 香氣アル、馨香アル  
 officinalis. 藥舗ノ、藥用ノ、商店ノ  
 oliganthus. 少數ノ花ヲ有スル  
 orientalis. 東方ノ  
 pallescens. 淡白色ナル  
 palmatus. 掌狀ヲ成セル、掌形ニ分裂セル  
 paniculatus. 圓錐花穗ヲ成セル  
 pantherinus. 豹紋アル、豹皮斑アル  
 parviflorus. 小形ノ花ノ、小形ノ花ヲ有スル  
 pauciflorus. 少數ノ花ヲ有スル  
 pedatus. 鳥趾形ノ  
 peplodes. Pepis (みづはな科ノ小草)ニ似タル  
 perennans. 多年年ノ

pictus. 有色ノ、染色アル、色彩アル  
 pilosus. 疎長毛アル  
 platyphyllus. 闊キ葉ヲ有スル  
 polifolius. *Tenarium Polium* (唇形科ノにかく  
 屬)ノ如キ葉アル  
 Porrum. にらねぎ即チリーキノ  
 polygamus. 雜居花ヲ有スル  
 polymorphus. 多形ノ  
 psittacinus. 鸚鵡色ノ  
 psittacoides. えぞのこぎりアサ (Achillea Par-  
 mica)ニ似タル  
 psalmicus. 嘯アサヲ起サスル  
 pterocaulis. 羽アル莖ヲ有スル、翼狀ノ莖ヲ有ス  
 purpurascens. 淡紅紫色ノ  
 purpureus. 紅紫色ノ  
 pusillus. 弱小ナル、紅紫色ノ  
 pygmaeus. 小ナル、細小ナル、菲弱ナル、狭  
 pycnanthus. 矮小ナル  
 quadrifolius. 密ニ花ヲ以テ滿サレタル  
 quinatus. 四片ノ葉アル  
 racemosus. 五ノ、五數ノ  
 racemosus. 總狀花ノ

斷枝片葉 (其三十四)

renotiflorus.  
reniformis.

疎在セル花ヲ有スル  
腎臓形ノ

ricinifolius.  
roseus.

たうごま (蓖麻 Ricinus communis.)  
ノ如キ葉ヲ有スル  
薔薇色ノ、淡紅色ノ

○斷枝片葉 (其三十四)

牧野 富太郎

●はだかむぎ はだかむぎ即チ稗麥ハおほむぎ即チ大麥ノ異品デアル、はだかむぎトハ其稃ガ穀粒カラ離レ易ク穀ガ直グ裸ニナルノデ其名ガアル、然ルニ近時ノ植物學者間ニハ穗ニ芒ノ無イ坊主麥 (大麥ノ一品) ヲはだかむぎト間違ヘテ書物ニマデモ書テ居ル人ガアッタガ實ニ捧腹絶倒ノ至デアル、又ははだかむぎノ學名トシテ松村博士著『植物名彙』ニハ其レガ *Hordeum sativum* var. *hexastichon*. トナリおほむぎガ var. *vulgare*. トナリ居レドモ是レハ其反對ニナラネバナナイガ尙ホ精シク言ヘバはだかむぎハ其 *vulgare* 中ノ一品デ私ハ其學名ハ須ラク *Hordeum sativum* var. *vulgare forma coeleste* (L.) トスニキモノデアルト考ヘル、此 *coeleste* 品ハ原ト *H. coeleste* L. ト名ケタ者デ俗ニ *Naked Barley* ト呼ビ其稃ハ容易ニ穀粒ト離レおほむぎノ様ニ稃穀ガ互ニ附着シテ居ルノトハ異ツテ居ル、我日本ノ西南暖地方面デハ大抵一般ニ廣ク此はだかむぎヲ作り普通ニむぎト謂ヘバ之レヲ指シおほむぎハ獨リ山岳地ニ見ルバカリデアル、此ンナ譯エエ植物ノ教科書ナドニハ宜シク大麥小麥ト伍シテ此重要ナ稗麥ヲモ載セ置カネバナナイモノデアル ●伊豆大島ノ櫻株 同島泉津村ノ山地ニ櫻株ト稱スルおほしまぐくらノ大木ガアル本幹ガ短矮ナノデ櫻株ト謂ッタモノデアラウ人ノ丈位ノ處迄ハ巨幹デ根本ハ別ニ張り出ズ地カラ突然ト立チ居リ上ハ約十三本程ニ一處カラ分レ其數本ハ横斜シ中ニハ一旦地ニ着キ再ビ傾上シテ居ルノモアル、私ハ此幹ハ昔三原山大噴火ノ時其本ノ方ハ山上ヨリ崩レ來タ石礫デ埋マリ上ハ折レタ處カラ多數ノ枝ガ萌出シ幹ガ短イノデ斧斤ノ災ヲ免レ今日ニ殘ッタモノデアラウト思フ